

# ハートレター

第 105 号

2020 年 5 月 29 日

発行:社会福祉法人絆の会

発行責任者:大池ひろ子

事務局所在地:

長野市若里3-14-23

TEL 026-226-6045

FAX 026-262-1262

houjin@kizuna-nagano.or.jp

<http://www.kizuna-nagano.or.jp/>



2Pからの内容

・多機能型事業所「悠友ハウス就労支援センター」開所

・ボランティアさんお待ちしております！

3P

・新型コロナウイルスに負けない！

—各事業所で、基本的な予防の外にも工夫して対策しています。

4P

・新任職員紹介

・メンバーの活躍あれこれ

・インフォメーション

・ポプラの会からのお知らせ

## 見えるものと見えないもの

台風 19 号災害から 4 か月、  
やっと復興への道を支え合って歩み始めていた時、  
新型ウイルスがやってきた。

緊急事態宣言が全国に発令され、  
それが解除されても、人出は戻らない。

感染症が怖い！

誰が感染しているか、どこにウイルスがあるか、  
見えない事で様々な「不安」を生む。

「不安」はさらに「疑心」を生み、「疑心」は  
「差別」へと変化する。

心ならずも感染してしまった人や、命がけで奮闘  
している医療従事者にまで。

私たちは「差別」という言葉に強く反応せずには  
いられない。

差別や偏見からの回復が私たちの仕事だから。

さて、法人のブログは法人内外の人の心をつなぐ  
役割を果たしてきた。

今、こんな時なので「おすすめの一冊シリーズ」

と愛読書を紹介するリレーをアップしている。

「おすすめの一冊シリーズ」は今までとはまた違  
った「つながり」を生んでいる。紹介者への新鮮な  
印象と、ものの見方の広がりがある。

「つながり」が「信頼」を生み「信頼」は未来に可  
能性を生み出す。

今、皆の声を聴き合い、できることを話し合い、実  
行し、未来に向けてささやかだけれど確かな一歩  
を踏みだそう！！

学校では子供たちが戯れて遊び、  
絆の会では合唱団の歌声がハーモニーとなって響  
き渡り、ソフトバレーボールチームはネット下で  
ハイタッチをして勝利を喜び合う。  
そんな日がきっと来る。

目には見えない「信頼」で今年、法人の見える  
「かたち」を創りだそう！！

それぞれが掲げた目標に向かって。

(常務理事 土井 まゆみ)

### 2020 年度絆の会が目指すことは？

#### 【全体としては】

1. 2021 年度から始まる 5 か年中期事業計画の策定
2. ボランティア活動の新しい形を求めてスタートしていく

#### 【各分野では】

3. 悠友ハウス就労支援センターの事業の充実と就職への道確立(就労移行支援事業)
4. グループホームの在り方と将来の生活スタイルを含めた利用者の望む生活の実現(グループホーム)
5. 利用者の特性に合わせた事業内容の充実(就労継続支援 B 型事業)
6. 社会の役に立つ経験と社会参加の充実(地域活動支援センター)

